

# ＜用語説明＞

参考資料

名称	説明
あさひかわ食の健康づくり応援の店	栄養・健康情報の提供やメニューにエネルギー等の栄養成分表示を行い、市民の健康的な食生活を応援している飲食店等。併せて、健康に配慮した対応やメニューの提供も行っている。
YES!cleanマーク (北のクリーン農産物表示制度)	道内で生産された農産物を対象に、農産物ごとに定められた化学肥料、化学合成農薬の削減など、一定の基準を満たした生産集団が生産・出荷する農産物に、マークと化学肥料等の栽培情報を表示する北海道独自の制度。
SDGs(えすでいじーず)	Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で、2015年の国連サミットで採択された、先進国を含む2030年までの国際社会全体の開発目標。17のゴール(目標、それぞれに対応するアイコンがある。)と169のターゲット(下位目標)から構成されている。すべての関係者の役割を重視し、地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境を巡る広範囲な課題に統合的に取り組むこととしている。
加工食品	品質保存、有効利用、安定供給を目的として、食品を調味や加熱等したもののこと。栄養成分表示においては、業務用加工食品か、それ以外の一般加工食品かによってルールが異なる。
GAP (ギャップ:農業生産工程管理手法)	Good Agricultural Practiceの略。 農産物の安全を確保し、よりよい農業経営を実現するために、農業生産において食品安全だけでなく、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の方法のこと。
共食 (きょうしょく)	家族等が食卓を囲んで一緒に食事をとりながらコミュニケーションを図ること。
グリーン・ツーリズム	農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。旭川市におけるグリーン・ツーリズムの施設認定については、対象となる区域、施設の種類等が決まっている。
健口体操 (けんこうたいそう)	唾液の増量や飲み込みに使う筋肉を鍛えるための、のどのトレーニング。誤嚥防止や異物を吐き出す力の強化により、おいしく安全に食事を楽しめることを目指す。
子ども食堂	子どもが「自宅でも学校でもなく居場所と思えるような場所」のひとつとして、子どもやその保護者に対し、無料又は安価で食事を提供する場所。共食の機会であることに加え、地域ぐるみでの子どもの見守りや多世代交流の場としても機能している。
1/3ルール (さんぶんのいちるーる)	製造日から賞味期限までの期間を3等分し、最初の1/3を「納品期限(卸売業者から小売店へ納品する期限)」とする食品流通上の慣例のこと。賞味期限がまだかなり先の食品も廃棄となる可能性があり、国として慣習の見直しを推進している。
3010運動 (さんまるいちまるうんどう)	宴会等における大量の食品ロスを減らすため、「最初の30分間と最後の10分間、皆で食べる時間を設けましょう」という運動。
収去検査 (しゅうきょけんさ)	国が定める基準に違反していないかを確認するため、保健所が、食品関係施設から必要最小限の検体を採取して行う検査。
消費期限	未開封かつ記載された保存方法を守った上での、「安全に食べられる」期限。急速に傷みやすい食品(惣菜、食肉、生菓子等)に表示される。年月日で表示。

# ＜用語説明＞

参考資料

賞味期限	未開封かつ記載された保存方法を守った上での、「おいしく食べられる」期限。期限を超えた直後に安全性まで損なわれるとは限らないため、期限後でもまだ食べられるかは消費者が判断することとなる。比較的傷みにくい食品(乾麺、スナック菓子等)に表示される。年月日で表示するが、製造日から期限までが3か月以上ある食品の場合は、年月のみの表示も可。 なお、長期間保存しても品質の変化がごく少ない一部の食品(食塩、砂糖、アイスクリーム等)は、賞味期限の表示を省略することが可能。
3R(すりーあーる)	リデュース(Reduce:廃棄物の発生抑制), リユース(Reuse:再使用), リサイクル(Recycle:再生利用)からなる, 循環型社会を目指した廃棄物対策の取組。これらにリフュース(Refuse:不要品を買わない, 断る)を加えて4Rとする場合もある。
HACCP (ハサップ)	衛生管理の手法で, Hazard Analysis and Critical Control Point の略。事業者自らが, 食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因(ハザード)を把握した上で, 原材料入荷から製品出荷までの全工程の中で, それらの要因を除去・低減させるため特に重要な工程を管理し, 製品の安全性を確保しようとするもの。
8020運動 (はちまるにいまるうんどう)	平成元年から国と日本歯科医師会が推進している, 「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。20本以上の歯があれば食生活にほぼ満足できると言われ, 生涯, 自分の歯で食べる楽しみを味わえることを目指している。
ピクトグラム	情報や注意などを単純な絵, 図形などで示す案内記号のこと。
PDCAサイクル	Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(又はAct, 改善)→改善内容を踏まえて再度, 計画→実行……, という一連のプロセスを繰り返しながら内容の向上を図る手法のこと。
フレイル	年をとって心身のはたらき, 社会的なつながりが弱くなったハイリスク状態のことで, 要介護状態に至る前段階と位置付けられる。早めに気づいて適切な取組を行うことで, 進行を防ぐとともに健康に戻ることができるとされている。
クリーン農業	堆肥等の有機物の施用などによる土づくりに努め, 化学肥料や化学合成農薬の使用を必要最小限にとどめるなど, 農業の自然循環機能を維持・増進させ, 環境との調和に配慮した安全・安心で品質の高い農産物の生産を進める農業。
地産地消 (ちさんちしょう)	「地域で生産された物をその地域で消費すること」を基本とした活動。新鮮な食材の提供・入手に繋がるほか, 直売所等を通じた生産者と消費者の信頼関係の構築やニーズの把握, 輸送にかかる環境負荷の軽減, 「食」や「農」についての理解の促進等が期待される。
都市農村交流人口	農業体験等で農村地域を訪れる都市住民の数のこと。
中食 (なかしょく)	惣菜, デリバリーなどを利用し, 家庭外で調理・加工されたものを家庭や職場などで食べること。
パブリックコメント (意見提出手続き)	市の基本的な施策(基本的な計画や, 市民の権利義務に関する条例の策定など)の形成過程において, 施策の趣旨, 目的, 内容, その他必要な事項を公表し, これらに対する意見や提案を求めるもの。
フードドライブ	家庭で余っている食品を集めて, 食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体, 子ども食堂, 福祉施設等に寄附する活動のこと。
フードバンク	食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り, 福祉施設等へ無料で提供する団体や, その活動のこと。
フードマイレージ	食料の総輸送量と距離をかけ合わせた指標で, 食料の輸送による環境負荷の把握等に役立てられる。

# <用語説明>

参考資料

未利用食品	本来食べられる状態であるにも関わらず、規格外品、過剰生産、給食・イベント等の中止などの理由で、持ち主が利用できない食品のこと。
リスクコミュニケーション (意見交換会)	リスク分析の全過程において、リスク評価者、リスク管理者、消費者、事業者、研究者、その他関係者間で、情報や意見を互いに交換すること。